

危 機 管 理 課

○ 防災関係

1 災害対策本部関係

伊勢市地域防災計画に基づき、災害の防止・軽減・応急対策を迅速に実施するため、災害対策本部を設置した。

(1) 本部設置回数 4回

設置年月日	警報・注意報名	備考
5. 6. 2 (金)	大雨 (浸水害・土砂災害) ・洪水警報、土砂災害警戒情報、雷・強風・波浪注意報	避難所32箇所開設 61世帯103人
5. 8. 14 (月) ～ 8. 15 (火)	暴風・洪水・大雨 (土砂災害) 警報、雷・高潮注意報	台風第7号 避難所22箇所開設 155世帯226人
5. 8. 16 (水)	大雨 (土砂災害) 警報、雷・強風・洪水・波浪注意報	
5. 12. 3 (日)	津波注意報 (三重県南部)	フィリピン付近を 震源とする地震

2 令和6年能登半島地震被災地への支援

令和6年1月1日に能登半島を中心に発生した令和6年能登半島地震の被災地自治体を支援するため、総務省の調整のもと、石川県輪島市の対口支援団体として三重県が決定されたことや災害協定等に基づき、石川県輪島市など被災自治体に職員を派遣し、災害支援を行った。

(1) 活動内容、派遣期間、派遣職員及び人数

活動内容	派遣先	期 間	職 種
応急給水活動(9人)	輪島市、七尾市、 宝達志水町、 能登町	①R6. 1. 2～ 1. 8 (7日間) ②R6. 1. 25～ 2. 1 (8日間) ③R6. 2. 14～ 2. 19 (6日間) ④R6. 3. 19～ 3. 26 (8日間)	土木技術職・事務 職・技能士・業務員
緊急消防援助隊(33人) (11人編成×3隊)	輪島市	①R6. 1. 10～ 1. 14 (5日間) ②R6. 1. 13～ 1. 17 (5日間) ③R6. 1. 16～ 1. 19 (4日間)	消防吏員
災害対策本部運営支援 (9人)	輪島市	①R6. 1. 3～ 1. 10 (8日間) ②R6. 1. 14～ 1. 26 (13日間) ③R6. 2. 7～ 2. 14 (8日間) ④R6. 2. 27～ 3. 5 (8日間) ⑤R6. 3. 11～ 3. 17 (7日間) ⑥R6. 3. 29～ 4. 10 (13日間)	事務職・消防吏員
災害派遣医療チーム 〔市立伊勢総合病院〕 (10人)	七尾市(公立能 登総合病院)、 輪島市	①R6. 1. 4～ 1. 7 (4日間) ②R6. 1. 25～ 1. 29 (5日間)	医師・看護師など

避難所における住民の健康管理・衛生管理等業務(1人)	輪島市	①R6. 1. 14～ 1. 19 (6日間)	保健師
避難所運営業務(16人)	輪島市	①R6. 1. 14～ 1. 20 (7日間) ②R6. 1. 22～ 1. 28 (7日間) ③R6. 2. 3～ 2. 9 (7日間) ④R6. 2. 15～ 2. 21 (7日間) ⑤R6. 2. 23～ 2. 29 (7日間) ⑥R6. 3. 2～ 3. 8 (7日間) ⑦R6. 3. 14～ 3. 20 (7日間) ⑧R6. 3. 26～ 4. 1 (7日間)	事務職
被災建築物応急危険度判定(1人)	穴水町	①R6. 1. 17～ 1. 19 (3日間)	建築技術職
下水道管渠の1次調査(4人)	能美市、内灘町	①R6. 1. 12～ 1. 17 (6日間) ②R6. 2. 19～ 2. 25 (7日間)	土木技術職・技能士
2次避難所における健康管理及び事務調整業務(9人)	加賀市	①R6. 1. 25～ 1. 30 (6日間) ②R6. 1. 29～ 2. 4 (7日間) ③R6. 2. 3～ 2. 9 (7日間)	保健師・事務職
被災家屋・建物の公費解体業務(1人)	輪島市	①R6. 3. 11～ 3. 17 (7日間)	事務職

※令和6年3月31日までに派遣した職員 延べ93人

3 災害対策本部の体制強化

(1) B C M (伊勢市業務継続マネジメント) 定例会の開催

各部、各チームが主体性を持ってB C Mに取り組むためにB C M定例会を開催し、課題に対する対策の進捗状況について報告等を行った。協定先との連携、ドローンの活用、職員参集訓練で抽出した課題に対する対策を情報共有するとともに、次年度に向けた課題の抽出を行った。また、令和6年能登半島地震への被災地支援などの取組みや課題について共有した。

ア 第13回B C M定例会

- ・実施年月日 令和6年3月26日(火)
- ・参加者 市長、副市長、各チーム長及び部局長、各総合支所長
- ・講評者 川口 淳 氏(三重大学)

(2) 居住地区別参集体制訓練の実施

勤務時間外の地震発生を想定し、居住地に応じた場所に参集し、参集場所において災害対応の初動手順を確認する訓練を実施した。

- ・実施年月日及び場所 令和5年11月8日(水) 二見総合支所
- ・参加者 23名
- ・訓練内容 勤務時間外に地震が発生したことを想定し、職員の居住地に応じて参集し建物の安全確認、ライフライン点検、通信機器の確認、防災行政無線放送、災害対策本部の初動体制訓練を実施した。

(3) 図上訓練の実施

職員の災害対策本部運営体制の習熟度を上げるため、災害対策本部となる防災センターでの災害対策業務を経験することを目的に職員を対象とした図上訓練を次のとおり実施した。

また、令和6年1月にも国や県、自衛隊、警察などの関係機関や災害協定を締結した自治体、企業に参加いただく図上訓練を企画し、準備を進めていたが令和6年能登半島地震の影響により中止した。

- ・実施年月日 令和5年8月10日（木）
- ・実施場所 伊勢市防災センター
- ・参加者 187名（延べ人数）
- ・講評者 川口 淳 氏（三重大学）
- ・内容 災害対策本部における情報共有のルール確認や災害対応の目標設定、企画立案方法の理解を目的として、台風の影響により五十鈴川左岸の破堤から24時間後を想定し災害復旧業務の対応、課題抽出を実施した。

4 自主防災隊補助事業

伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、防災資機材や備蓄食料等の整備及び訓練に対し、次のとおり補助金及び助成金を交付した。

(1) 自主防災組織結成数 135隊（令和6年3月31日現在）

(2) 訓練助成金 82件 2,460,000円

(3) 防災補助金 114件 13,527,000円

ア 自治会 33件 1,394,000円

イ 自主防災組織 81件 12,133,000円

5 地域防災力向上支援事業

(1) 防災講習・防災訓練の実施

南海トラフ地震の発生が危惧されている中、地域における防災の取組みを促進するため、自治会、自主防災組織、まちづくり協議会及び小中学校や高校、企業等からの要請に応じ、防災講習や防災訓練指導を実施した。

ア 実施回数 121回

イ 参加人数 8,649名

ウ 実施内容

- ・緊急時の行動や家庭内での防災対策の説明
- ・児童、生徒、従業員等への防災教育
- ・災害時の避難行動訓練指導

(2) 地域防災マップ作成事業

住民が災害に強いまちづくりを行うことを目的として、防災について話し合い、顔の見える関係を作り、地域課題の共有や改善を行うため、地域住民の力で行うタウンウォッチングや地域防災マップ作成に対し支援を行った。

ア 説明会 令和5年6月24日(土) 御菌公民館、令和5年7月22日(土) 坂東会館

イ 説明会参加自治会 11自治会

(下小俣自治会、明野第四自治区、王中島区、宇治今在家町会、上地区、城田団地自治会、栗野区自治会、栗野団地自治会、中須自治会、中須坂東自治会、川端町自治会)

ウ 作成実績 10自治会

(下小俣自治会、明野第四自治区、王中島区、上地区、城田団地自治会、栗野区自治会、栗野団地自治会、中須自治会、中須町坂東自治会、川端町自治会)

(3) 高齢者等宅家具固定事業

過去に発生した大規模な地震では、住宅内の家具の転倒により多くの死傷者が発生している。特に高齢者、障がい者の方が被災されるケースが多数見受けられたため、高齢者等を対象に家具固定事業を実施した。

ア 実施件数 22件

イ 申込期間 令和5年8月1日(火)～令和6年1月31日(水)

(4) 自主防災隊リーダー研修会の開催

地域の自主防災組織活動の中心的役割を担うリーダーの育成を図るため、伊勢市防災大学の講座を研修会として実施し、災害時のこころのケア、健康を守るためにできることを、講師の体験談をもとに学習した。

ア 実施年月日 令和6年1月21日(日)

イ 研修内容 防災講演 「災害時のこころのケア」

講師 大澤 智子 氏(兵庫県こころのケアセンター)

(5) 伊勢市防災コーディネーター事業

市民の防災活動の普及・防災意識の高揚を図るため、防災士資格を持つ市民の中から登録の意思のある方を「伊勢市防災コーディネーター」に認定し、地域の防災啓発活動や市が実施する防災事業のサポートを行っている。

・登録人数 42名(令和6年3月31日現在)

(6) 親子防災イベントの実施

小学校の夏休みを利用し、小学校4年生から6年生の児童及びその保護者を対象に防災センターにおいて災害に対する備えについて学び、防災に対する意識の向上を行った。

ア 実施年月日 令和5年8月20日(日)

イ 参加者 50名(小学生25名、保護者25名)

ウ 協力者 13名(宇治山田商業高校生徒及び教諭5名、防災コーディネーター8名)

エ 研修内容 避難所テント、段ボールベッド設営、アルファ化米調理及び試食、クロスロードゲーム、応急手当体験、夜間避難訓練など

6 防災センター運営事業

平成28年4月1日にオープンした伊勢市防災センターは、市民の防災に関する知識の普及及び技術の向上並びに防災意識の高揚を図るとともに、災害時における災害対策本部として運用しており、防災の拠点として施設の管理、運営を行った。

(1) 管理運営方法

市が直接管理し、使用料は無料で運営している。(12月28日から翌年1月4日までは休館)

(2) 利用状況

(単位：人)

年度	体験学習室	研修室1	研修室2	研修室3	多目的ホール	小計	イベント	合計
H28	8,055	3,226	214	236	4,023	15,754	2,300	18,054
H29	6,444	4,796	261	605	3,673	15,779	1,550	17,329
H30	6,187	4,238	240	597	4,825	16,087	1,700	17,787
R元	6,526	4,023	314	313	5,235	16,411	1,550	17,961
R2	2,586	1,859	173	191	3,070	7,879	0	7,879
R3	3,388	2,751	451	219	4,007	10,816	0	10,816
R4	4,271	2,961	415	315	5,343	13,305	0	13,305
R5	5,297	3,043	377	276	5,661	14,654	1,700	16,354

(3) 実施イベント

ア 消防・防災フェスタ

消防本部と共催で「消防・防災フェスタ」を防災センターで開催した。令和2年からは新型コロナウイルスの影響により中止としており、今年度は4年ぶりの開催であり多くの来場者があり、防災意識の普及、啓発が図れた。

- ・開催日 令和5年5月28日(日) 午後1時～午後4時
- ・来場者数 950人
- ・イベント内容 ナダレンジャーの「防災科学実験ショー」、はしご車体験搭乗、放水体験、地震体験車、防火服着装体験、煙避難体験、初期消火体験、防災シアター、浸水車両脱出体験、ちびっこレスキュー体験など

イ 救急と災害を考える集い

伊勢地区医師会・伊勢保健所等と共催で「救急と災害を考える集い」を開催した。

- ・開催日 令和5年9月3日(日)
- ・来場者数 750人
- ・イベント内容 新型コロナウイルス感染症や防災に関する講演、応急手当体験、煙避難体験、初期消火体験、防災シアター、アマチュア無線展示、災害時におけるお薬手帳の有効性、血圧測定・健康相談、手洗いチェッカー、モバイルファーマシー(災害対策医療薬品供給車両)展示、はしご車体験搭乗、地震体験車、防災物品展示、防災救出体験など

(4) 伊勢市防災大学

防災について、総合的に学ぶ機会を提供し、防災知識の豊富な人材を育成し、地域の防災力向上及び災害に強いまちづくりを支援するため、伊勢市防災大学を開校し、60名の方が受講した。

回	日 時	内 容	講 師
第1回	7月30日（日）	・開校式 ・防災講演	三重大学 川口 淳 氏
第2回	8月27日（日）	・防災講演 「避難スイッチ」	香川大学 竹之内 健介 氏
第3回	10月29日（日）	・視察見学 「野島断層保存館」	野島断層保存館震災語り部 （兵庫県北淡町）
第4回	11月26日（日）	・防災演習 「クロスロードゲーム」	伊勢市防災コーディネーター
第5回	1月21日（日）	・防災食クッキング	だんだんキッチン 大須賀 由美子 氏
第6回	2月18日（日）	・防災講演 「災害時こころのケア」	兵庫県こころのケアセンター 大澤 智子 氏
第7回	3月10日（日）	・学んだこと発表会 ・修了式	

7 災害対応デジタル推進事業

(1) 避難所 Wi-Fi 整備事業

大規模災害発生時の避難所（避難生活施設）での避難生活において、避難者がスマートフォンなどの情報端末で情報が入手できるよう小中学校の屋内運動場にネットワーク機器の設置など Wi-Fi 環境の整備を実施した。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊勢市地内	伊勢市立小中学校及び教育支援センター等ネットワーク改修業務委託	小中学校屋内運動場 12か所	円 10,780,000	5.11.30	6.3.22

(注) 教育委員会教育研究所施行（金額は危機管理課分）

イ 購入関係

小中学校屋内運動場（避難所）用ネットワーク機器購入経費 6,362,400円

8 災害協定の締結

民間事業所等と災害時の応援協定を次のとおり締結した。

締 結 先	締結年月日	協定の名称
株式会社 スズケン	5. 4. 5	災害時における医療材料等の供給に関する協定
社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	5.10. 1	災害時における避難所の使用に関する協定

一般社団法人 三重県水門・水環境施設協会	5. 11. 17	災害発生時における調査及び災害応急工事に関する協定
中北薬品 株式会社	5. 11. 21	伊勢市と中北薬品株式会社との包括連携に関する協定
株式会社 スギ薬局	6. 1. 26	伊勢市と株式会社スギ薬局との包括連携に関する協定

(注) 令和5年度末 協定締結数 149件

9 災害用民間井戸登録の普及

災害時における生活用水の確保と市民の防災意識の向上を図るため、災害用井戸を募集し、水質検査完了後に登録を実施した。登録後の災害用井戸は、ホームページに公表するとともに自治会役員等に周知した。

(1) 登録件数 (令和5年度末) 274件 (前年度比 2件増)

(2) 募集期間 令和5年5月8日(月)～令和5年11月30日(木)

○ 危機管理関係

1 新型コロナウイルス感染症対策本部会議

新型コロナウイルス感染症について、令和5年5月8日から感染症法上の位置付けが「新型インフルエンザ等感染症」から「5類感染症」に変更されたことに伴い、基本的な考え方、市の対応方針を確認するため会議を実施した。

ア 実施回数

令和元年度 15回 (令和2年1月～3月)

令和2年度 17回 (令和2年4月～令和3年3月)

令和3年度 11回 (令和3年4月～令和4年3月)

令和4年度 1回 (令和4年4月～令和5年3月)

令和5年度 1回 (令和5年4月)

イ 内容

感染症法上の位置付け変更に伴い、感染防止にかかる基本的な考え方、災害時の避難所運営など今後の市の対応方針等の確認を行った。

○ 防犯関係

1 伊勢市防犯推進協議会

「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、事業計画を策定し、市民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の推進を図り、より安全で安心できる市民生活の確保に努めた。

(1) 地域安全講習会

年々増加する特殊詐欺事案や不審者からの声かけ事案を未然に防止するため、自治会、老人会、幼稚園、保育園等へ出向し講習会を開催した。

開催回数：51回 受講者数：1,739人（内訳：大人1,040人、幼児699人（保護者含む。））

内容 ・防犯DVDや特殊詐欺事案の寸劇による啓発（振り込め詐欺など）を行った。
・伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員による管内の犯罪等の発生状況、事例に沿った犯罪の手口とその対策方法について講話を行った。
・防犯アドバイザーによる地域の防犯対策について講話を行った。
・子供連れ去り事案防止教育の「いかのおすし」を題材とした紙芝居ビデオ及び「五つの約束」について園児に対し分かりやすい講話を行った。

（2）防犯パトロール

児童・生徒の下校中に発生している不審者の声かけ事案等について、被害防止を図るため、社会教育課と連携し、青色回転装備車で防犯パトロールを実施した。

実施回数：125回（危機管理課：77回、社会教育課：48回）

（3）防犯情報による啓発

伊勢警察署や市内の学校から寄せられた不審者情報や振り込め詐欺情報、犯罪発生情報の「防犯情報」を、防犯メール登録者に配信し、注意喚起と啓発を実施した。

配信回数：18回

（4）防犯情報の提供及び対応

警察等からの不審者情報や特殊詐欺情報を自主防犯団体や関係機関へ情報提供し、パトロール活動や注意喚起を要請した。

2 伊勢市自主防犯団体連絡会

自主防犯団体相互の連携と資質の向上に積極的に取り組み、伊勢市内の防犯パトロール活動の活性化と市民の防犯意識の高揚を図った。

（1）防犯啓発活動

①大型店舗での防犯啓発

伊勢市自主防犯団体連絡会、伊勢警察署、伊勢度会地区生活安全協会と合同で、市内のスーパーマーケット前で、街頭犯罪や振り込め詐欺などの被害防止の啓発活動を実施した。

実施回数：19回

②伊勢まつりでの防犯啓発

伊勢市自主防犯団体連絡会、伊勢警察署、伊勢度会地区生活安全協会と合同で、伊勢まつりパレードに参加し、街頭犯罪や振り込め詐欺などの被害防止の啓発活動を実施した。

実施日：令和5年10月8日（日）

③観光客への防犯啓発

観光客の犯罪被害防止のため、観光案内所などに車上ねらい、置き引きなどの防犯チラシを設置した。

また、令和5年8月26日（土）外宮参道、令和5年11月2日（木）おはらい町通りにて、伊勢市自主防犯団体連絡会の会員で、観光客へ盗難防止などの防犯チラシ及び啓発物

品を配布し、啓発活動を実施した。

(2) 全国地域安全運動

全国地域安全運動の期間中（令和5年10月11日～令和5年10月20日）に伊勢警察署及び伊勢度会地区生活安全協会、伊勢市自主防犯団体連絡会と合同で、伊勢市駅、宇治山田駅前周辺での自転車ツーロック啓発活動を実施した。

開催日：令和5年10月19日（木）

3 防犯灯補助金

夜間に路上で発生する犯罪防止のため、防犯灯を設置する自治会へ「伊勢市防犯灯整備事業補助金交付要綱」及び「伊勢市防犯灯維持管理経費助成金交付要綱」に基づき補助金及び助成金を交付し、地域の防犯環境を支援した。

(1) 防犯灯に係る補助金及び助成金交付

- ・防犯灯新設 60灯
- ・防犯灯修繕 105件
- ・防犯灯電気代 13,724灯

4 防犯カメラ設置推進事業

安全で安心なまちづくりを推進するため、防犯カメラを設置する自治会へ「伊勢市防犯カメラ設置補助金交付要綱」及び「伊勢市防犯カメラ維持管理経費助成金交付要綱」に基づき補助金及び助成金を交付し、地域の防犯環境を支援した。

(1) 防犯カメラに係る補助金交付

- ・防犯カメラ新設 41台 （R2～R4：147台）合計 188台
- ・防犯カメラ修繕 6件
- ・防犯カメラ保守点検 71台
- ・防犯カメラ共架料 30台
- ・防犯カメラ電気代 148台

5 特殊詐欺等被害防止機器設置の推進

近年増加している特殊詐欺被害防止のため、防犯機能付き固定電話機及び固定電話機に取り付ける防犯機能機器の購入者に「伊勢市特殊詐欺等被害防止機器購入補助金交付要綱」に基づき補助金を交付し、被害防止に努めた。

(1) 特殊詐欺被害防止機器 124件

6 犯罪被害者等支援事業

犯罪行為に遭った被害者等の精神的負担の軽減を行うために、総合窓口として相談に応じ、各関係機関等の適切なサービスを提供した。また、給付条件に該当する場合は、犯罪被害者等の経済的負担の軽減等を目的として、支援金の支給と日常生活の支援を行う。

(1) 実績

ア 対応実績

- ・相談件数：1件

イ 給付実績

- ・支援金：300,000円
- ・助成金：0円

(2) 支援金制度

犯罪被害者及びその家族(遺族)が事件直後に必要となる経済的負担の軽減を図るため、支援金を給付する。

- | | | |
|----------|---------------|----------|
| ・遺族支援金 | 犯罪被害者の第一順位の遺族 | 300,000円 |
| ・重傷病支援金 | 犯罪被害者本人 | 100,000円 |
| ・精神療養支援金 | 犯罪被害者本人 | 25,000円 |

(3) 助成金制度

犯罪被害により、日常生活及び住居安定に支障がある犯罪被害者及びその遺族に対して、助成金を給付する。

- | | |
|----------|----------------------------|
| ・家事援助助成金 | 上限額：3,000円/時間×30時間 |
| ・一時保育助成金 | 上限額：3,000円/日×5日 |
| ・転居助成金 | 上限額：200,000円×1回 |
| ・家賃助成金 | 家賃月額×1/2×上限額：30,000円/月×6カ月 |

防 災 施 設 整 備 課

○ 備蓄倉庫等整備事業

1 物資拠点用発電機の整備

災害時に物資拠点となる伊勢志摩総合地方卸売市場の電源対策として、フォークリフト充電用の可搬式発電機一式の購入及び整備を行った。また、避難所での利用も可能とするため、必要な備品も併せて購入した。

(1) 物品購入

- ・可搬式ディーゼルエンジン発電機一式（3セット）購入経費：3,960,000円
- ・避難所利用用コードリール（3台）購入経費：23,100円

(2) 委託関係

【10万円以下の委託】

- ・可搬式ディーゼルエンジン発電機点検業務委託ほか1件：135,850円

2 避難所看板の整備

協定等の締結により、新たに避難所として指定した施設への看板の設置を行った。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
下野町 地内	避難所看板設置工事	避難所看板一式	円 462,000	5.10.25	5.12.22

○ 備蓄物資整備事業

1 備蓄物資の整備

伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき、非常用食料等を購入し、物資及び資機材の整備を行った。

(1) 公的備蓄の数量

No	品目	備蓄目標（注）		令和5年度 購入数		令和5年度末 備蓄数量	
1	クラッカー	77,128	食	15,750	食	65,410	食
2	おかゆ	15,696	食	2,400	食	11,400	食
3	ようかん			1,600	食		
4	粉ミルク	2,710	食	2,800	食	2,800	食
5	液体ミルク	-	本	720	本	720	本
6	使い捨て哺乳瓶	2,710	本	-	本	5,060	本
7	アルミシート	65,883	枚	-	枚	69,000	枚
8	毛布	13,519	枚	-	枚	16,326	枚

9	乳児・小児用おむつ	23,800	枚	4,884	枚	53,720	枚
10	大人用おむつ	7,536	枚	1,564	枚	24,940	枚
11	生理用品	25,215	枚	-	枚	65,360	枚
12	携帯トイレ	612,190	回分	120,000	回分	515,056	回分
13	トイレットペーパー	26,844	巻	-	巻	34,690	巻
14	飲料水 (500ml)	298,208	本	51,120	本	207,838	本

(注) 備蓄目標の数量は、伊勢市備蓄計画 (令和5年3月更新) の避難者用と帰宅困難者用の合算

(2) 避難生活施設運営資機材

No	品目	備蓄目標 (注)		令和5年度 購入数		令和5年度末 備蓄数量	
1	発電機 (カセットガス式)	144	台	-	台	152	台
2	コードリール	192	台	22	台	147	台
3	投光器 (バルーンタイプ)	48	基	-	基	53	基
4	投光器	192	基	-	基	156	基
5	投光器用スタンド	192	基	-	基	137	基
6	LED ランタン	480	個	141	個	345	個
7	室内用テント	96	基	-	基	92	基
8	養生テープ	240	巻	90	巻	240	巻
9	ビニール袋	48,000	枚	18,000	枚	20,200	枚
10	カセットコンロ	96	個	96	個	96	個
11	カセットボンベ	9,216	本	1,920	本	12,048	本
12	やかん	96	個	-	個	98	個
13	電気ポット	48	個	-	個	46	個
14	ブルーシート	2,400	枚	-	枚	3,300	枚
15	給水用タンク	48	基	-	基	10	基
16	折畳み式リヤカー	48	個	-	個	44	個
17	本部への報告様式	48	組	-	組	48	組
18	救急箱	48	個	13	個	41	個
19	筆記用具	48	組	-	組	48	組
20	情報伝達キット	48	個	-	個	48	個
21	ラジオ	96	台	-	台	165	台
22	避難生活施設 表示看板	48	基	-	基	48	基

(注) 備蓄目標の数量は、伊勢市備蓄計画 (令和5年3月更新) の避難生活施設48施設の合算

○ 津波避難施設維持管理関係

1 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
竹ヶ鼻 地内	港中学校屋外 避難階段塗装 改修工事	塗装改修一式	円 3,795,000	5. 7. 7	5. 9. 4
西豊浜町 地内	(注1) 豊浜西小学校 外壁等改修工 事	(注2) 建築工事一式	1,147,300 【契約額】 36,144,900 [防災施設整備課] 1,147,300 [学校施設整備課] 34,997,600	5. 7. 14	5. 10. 31
西豊浜町 地内	旧豊浜中学校 屋外避難階段 塗装改修工事	塗装改修一式	2,799,500	6. 1. 26	6. 3. 15
計	3件	-	7,741,800	-	-

・ 浜郷小学校避難所看板移設工事ほか2件：194,260円

(注1) 学校施設整備課へ執行委任

(注2) 建築工事のうち、防災施設整備課は避難階段塗装改修のみ